

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係
■評価事業名称	妊婦・乳児個別健康診査事業			
■事業開始年度	平成22年度			
■評価事業コード	040200 - 046		■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	01 子育て環境の充実		
	■施策	06 母子の健康の確保及び増進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	母子保健法 発達障害者支援法、子ども・子育て支援法			
■関連計画の名称	北上健康づくりプラン、北上市子ども・子育て事業計画、北上市障がい者プラン			
■事業目的と概要	妊娠中の異常を早期に発見し母体の保持増進を図る。乳児期に疾病や障害を発見するとともに、子どもの健康を把握し、親が安心して子育てをすることができるようとする。妊婦・乳児一般健康診査票を交付し、健康診査を医療機関に委託実施する。(妊婦～子宮頸がん検診1枚・妊婦健診14枚 乳児健診3枚)			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	妊婦健康診査事業	妊婦	・子宮頸がん検診(1人1枚発行) 使用率 99.0% 交付者(枚)数 840人 ・一般健康診査票(1人14枚発行) 使用率 82% 交付者数 840人	・子宮頸がん検診 使用率 96.8% 交付者(枚)数 731人 受診者(枚)数 708人 何らかの処置あり 延39人 ・一般健康診査受診票 使用率 82.1% 交付者数 782人 交付枚数 10,598枚 利用(受診)枚数 8,696枚 有所見者件数 延825件
02	乳児個別健康診査事業	乳児	乳児一般健康診査票(1人3枚発行) 使用率91.0% 交付者数900人	乳児一般健康診査票(1人3枚発行) 使用率90.1% 交付者数788人 交付枚数2,294枚 利用枚数2,068枚 有所見数137件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	75,261	78,404	75,286	79,183	
人件費	3,619	7,329	5,278	4,096	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	78,880	85,733	80,564	83,279	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	妊婦一般健康診査受診票使用率	74.8%	80.4%	78.7%	82.1%	使用率は、年度使用枚数／年度交付枚数。
02	乳児一般健康診査受診票の使用率	86.6%	83.2%	90.7%	90.1%	使用率は、年度使用枚数／年度交付枚数。
03	周産期死亡率	2.5	3.6	1.3	未確定	妊娠22週以降の死産数+早期新生児死亡数(生後1週間未満の死亡)÷出産(出生+妊娠22週以降の死産)数×1,000
04	妊婦使用率1%あたりコスト	704.9	533.2	544.7	507.2	(フルコスト/2)÷使用率
05	乳児使用率1%あたりコスト	525.9	515.2	472.6	462.1	(フルコスト/2)÷使用率

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている 	<p>達成状況の分析</p> <p>平成23年度から県外医療機関受診に対して償還払いも対応。妊婦健診については流産や予定期前の出生により使用率は8割程度となっている。乳児一般健康診査受診票については、1か月児健診の受診率は96.0%と高いが1歳児健診の受診率は87.1%と低い。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>平成24年度で妊婦健診の補助金中止。財源なし。</p>
<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される 	<p>2. 事業廃止の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 大きな不利益やリスクが生じる <input checked="" type="radio"/> ある程度の不利益やリスクが生じる <input type="radio"/> 不利益やリスクは小さい 	<p>3. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する
<p>4. 事業へのニーズの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている <input type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない 	<p>5. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い 	<p>6. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い
<p>7. 他市町村に比較しての優位性</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である 	<p>8. 実施主体の代替性</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能 	<p>9. 経済性・効率性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい
<p>■事業の見直し方策</p> <p>県内の市町村の動向を見ながら検討していく。</p>		
<p>■今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小 <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了 		